

〔論 文〕

初級中国語教育におけるYouTube動画導入に関する 学生の利用実態と意識調査

—授業内容をまとめた教員自作動画の視聴を中心に—

A Study on students' using and awareness of YouTube videos in elementary Chinese education:
Focusing on self-produced videos by teachers that summarize class content

許 挺 傑

Tingjie Xu

キーワード：中国語教育、YouTube動画、教員自作動画、利用実態、意識調査

1. 研究背景と目的

ICTの発達に伴い、外国語教育においても、ICTを利用して、いかに授業の改善ができるかに関する研究報告が蓄積されつつある。特に最近では、YouTube動画を積極的に授業に応用していくという研究も多く見られる（斎藤2014、紅粉2015、清原2015、岩居2014など）。本研究もその流れの中での一つであり、筆者自身が授業時に配布した資料を基に、学生用の予習・復習の動画を作り、それをYouTubeの専用チャンネルにアップし、学生に利用させるということに関する研究である。

本稿では、筆者が動画作成を開始するきっかけや、どのようなツールを利用し、動画を作成したか、また学生の動画視聴に関する実態調査と意識調査の結果などを報告する。

以下、第2節では、YouTube動画の利用を導入した授業のことや、動画作成の関連ツールと方法、運営しているYouTubeチャンネルの基本状況などについて述べる。第3節では、YouTube動画の視聴に関する学生の利用実態と意識調査の結果を報告する。第4節では、第2節と第3節で述べたことについて総合的な考察を行う。最後の第5節では、まとめと今後の課題について述べる。

2. 教員自作のYouTube動画を導入した授業について

筆者が自作のYouTube動画を授業に導入し始めたのは、2018年度前期開講の全学共通科目の「中国語Ⅰa」という授業であった。授業時間外でも、授業内容の予習・復習が出来るようにしたいと思ったことや、iPadのアプリを利用して、手軽に動画作成できるようになったことなどがきっかけである。当初はまだ不慣れな点が多く、課ごとに動画を作成して、アップするということはしなかった。しかし、2018年度後期開講の全学共通科目の「中国語Ⅰb」では、課の内容と連動して、課ごとに動画を作成し、YouTubeの専用チャンネルにアップするようになった。その他、担当した「中国語コミュニケーション」や

「中国語Ⅱb」などの授業でも、単発的ではあるが、必要に応じて動画を作成し、YouTubeの専用チャンネルにアップした。なお、筆者が授業のために開設したYouTubeチャンネルは、以下の【図1】のように、勤務先の略称である「芸短」に「中国語」と筆者の名前のローマ字表記「Xu tingjie」を付け加える形で、「芸短中国語Xu tingjie」というチャンネルである (<https://www.youtube.com/user/kasang429>)。



【図1】筆者が運営しているYouTube動画チャンネルの画面

また、動画作成用のツールであるが、筆者は、Explain Everything EDUというアプリを使用しており、授業資料のPDFを読み込み、iPadを使用して動画を作成している。Explain Everything EDUというアプリに関しては、以下のYouTube動画 (<https://www.youtube.com/watch?v=FTCxtUyPZHk>) やアプリの公式サイト (<https://explaineverything.com/>) 等を参照されたい。

また、筆者が2018年度内において、勤務先の授業や業務関連で作成した動画の概要は以下の【表1】の通りである。以下では、【表1】の内容について説明する。

まず、「対象授業」であるが、これらは基本的に筆者が勤務先で担当している中国語の授業や関連業務のことを指している。「中国語Ⅰa」と「中国語Ⅰb」は、1年生が履修する全学共通の科目で、それぞれ前期・後期に開講している。本学では、卒業するために、外国語の単位をⅠaとⅠbの2単位の取得が必要ということで、例年どの外国語の「Ⅰa、Ⅰb」の授業も、多くの学生が受講している。そのため、本学では、受講生が大人数の場合は、学生を2クラスに分けて、1名の教員が同じ内容の授業を2回行うという形で対応し

ている。なお、2018年度前期の「中国語Ⅰa」は、114名の学生が履修していた。また、「中国語Ⅰb」を履修するためには、「中国語Ⅰa」の試験に合格する必要があるが、残念ながら毎年不合格者が複数名出たため、「中国語Ⅰa」と比べ、「中国語Ⅰb」の人数は、数名から十数名減るのが現状である。実際、2018年度後期の「中国語Ⅰb」では、受講者は83名になっている¹。

【表1】2018年度公開した動画の集計

NO	対象授業	内容	長さ (m/s)	視聴回数 (回)	受講者数 (名)
1	2018年度中国語Ⅰa	第1課	5:42	228	114
2	2018年度中国語Ⅰb	第4課	14:19	161	83
3	2018年度中国語Ⅰb	第5課	20:25	38	83
4	2018年度中国語Ⅰb	第6課	19:39	54	83
5	2018年度中国語Ⅰb	第7課	14:27	119	83
6	2018年度中国語Ⅰb	第8課	22:43	90	93
7	2018年度中国語Ⅱb	第1課	18:17	29	13
8	2018年度 中国語コミュニケーション	第4課	29:55	30	9
9	2018年度 オープンキャンパス 中国語ミニ講義	中国語概要 基礎練習	7:23	63	30程度
計		9本	152:50	812	
平均			16:59	90	

「中国語Ⅱb」も全学共通の科目ではあるが、1年生のために開講している「中国語Ⅰa、b」とは異なり、卒業要件に絶対に必要なものではないため、受講者数は比較的にななめとなっている。また、「中国語コミュニケーション」は、筆者が所属している国際総合学科の専門科目であり、国際総合学科の学生しか履修できないため、受講者数は比較的少ない。そのほか、オープンキャンパスでも、中国語のミニ講義を担当しているため、当日来場した高校生や保護者のために、復習用として動画をアップしている²。

¹ 不合格者の他、合格したものの、何らかの理由で「中国語Ⅰb」の履修をキャンセルする学生も数名いた。その結果、最終的に83名となった。

² ただし、オープンキャンパスのミニ講義は、通常の授業と異なり、受講者名簿がないため、【表1】では、おおよその人数を示している。

また、「内容」は、授業で使用している教科書の課³を指している。ただし、著作権の関係上、教科書の画像をそのまま動画にしてアップしているのではなく、教科書の内容を応用して、筆者が作成した練習問題のプリントを基に動画を作成し、YouTubeチャンネルにアップしている。

また、「長さ」はそれぞれの動画の時間の長さを表わし、「視聴回数」は、動画の視聴回数⁴を示している。「受講者数」は、各授業の受講者数を記載している。

全体的にみると、2018年度にアップした動画は9本であり、時間にして153分程度である。視聴回数の合計は812回となっている。動画1本の長さは平均17分程度で、平均視聴回数は90回となっている。

最も多く視聴されたのは、「中国語Ⅰa」の「第1課」の内容をまとめたものである。しかし、受講者数114名に対して、再生回数が228回であるため、一人当たりの再生回数は2回との計算になる。また、「中国語Ⅰa、b」の他の動画の再生回数を見ても基本的に228回の再生を超えることはないため、全体的に、受講者数に比べ、一人当たりの再生回数は低めとなっている。

一方、2年生のための「中国語Ⅱb」や、専門科目の「中国語コミュニケーション」の動画は、再生回数こそ少ないものの、受講者数（13名、9名）に対して、それぞれ「29回」と「30回」の再生となっているため、一人当たりの視聴回数は、上記の「中国語Ⅰa、b」の視聴回数よりは多くなっていると言えよう。

動画の質において、大きな差異はないにもかかわらず、受講生一人当たりの再生回数が異なるのは、授業に対する積極性の相違があると考えられる。先ほども述べたように、「中国語Ⅰa、b」の単位は、卒業要件の必須単位であるため、単に単位が必要ということで、授業を履修している学生も多く見受けられる。一方、2年生のための「中国語Ⅱb」や、専門科目の「中国語コミュニケーション」は、やはり中国語を更に深く勉強したいという学生が集まっているため、その分、動画の視聴回数も増えているのではないかと思われる。

なお、受講者数や、授業で定期的に動画をアップしているかの2点を踏まえ、今回は、2018年度後期開講の「中国語Ⅰb」の学生を対象に、動画視聴に関する調査を行った。以下にて、この調査結果を報告するが、先ほど述べたように、1年生の「中国語Ⅰb」という授業の単位は、卒業要件の必須条件となっているため、授業参加に関する積極性の度合いにかなりの個人差があり、実際その点が動画視聴の実態にも影響していることを述べておきたい。では、詳細については、次の第3節で見たい。

³ 「中国語Ⅰa、b」は『中国語はじめの一步』（白水社、2012年）、「中国語Ⅱb」は『中国語つぎへの一步』（白水社、2010年）、「中国語コミュニケーション」は『高校生のコミュニケーション中国語』（セングージラーニング株式会社、2011年）を使用している。

⁴ 視聴回数がすべて授業の受講者によって再生されたかどうかは不明であるが、ここでは参考のため、記載している。なお、視聴回数は、2019年12月07日現在の記録である。

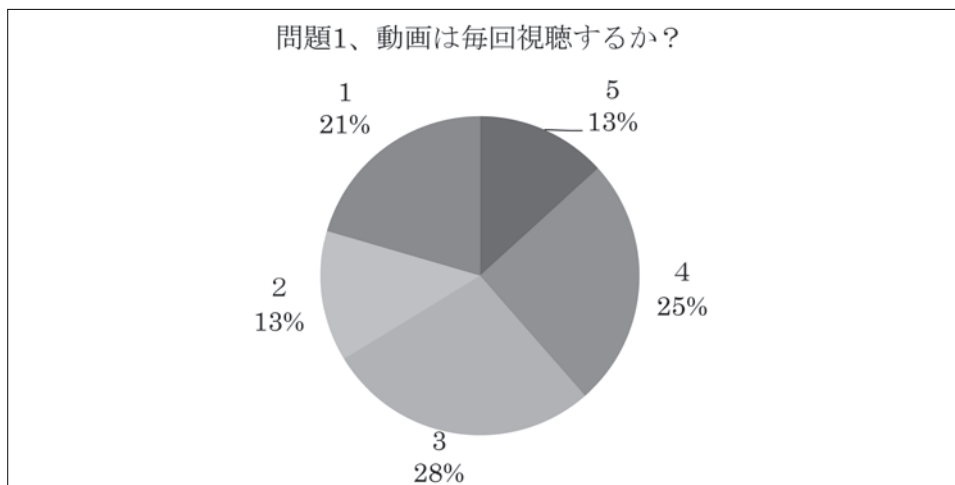
3. YouTube動画の視聴に関する学生の利用実態と意識調査

この節では、2018年度後期開講の「中国語 I b」という授業の15回目に行った、授業用YouTube動画視聴に関するアンケート調査の結果を報告する。アンケート調査に回答してくれた学生の人数は83名である。使用したアンケート調査は、論文の最後に「資料」として掲載しておくが、ここでは、問題ごとに結果を見ていく。

【問題1】は、以下の質問を通して、学生たちの動画視聴頻度を尋ねている【図2】。

1、授業内容に関する動画（第4課から第8課までの5つ）は必ず毎回視聴しています。

5 4 3 2 1
当てはまる どちらともいえない 当てはまらない



【図2】動画の視聴頻度

【図2】を見ると分かるように、「当てはまる」の【5】と「やや当てはまる」の【4】の合計⁵が38%である。このように、毎回動画を視聴してくれる学生の割合は低く、4割未満であることが明らかになった。それ以外の学生は、「どちらとも言えない」の【3】が28%で、「当てはまらない」の【1】と「やや当てはまらない」の【2】は、それぞれ21%と13%であった。

次に、【問題2】において、【問題1】で【5】と【4】を選んだ学生に、視聴の理由について尋ねたところ、以下のことが明らかになった。

⁵ 【問題1】の分析と同じように、以下の分析においても、「当てはまる」の【5】と「やや当てはまる」の【4】の割合を合計した数値や、「当てはまらない」の【1】と「やや当てはまらない」【2】の割合を合計した数値などを利用する。アンケート調査における回答方法の性質上、これらの数値はあくまでもおよその数値であることをご承知おきください。

2、問題1で【5】や【4】を選んだ学生に聞きます。あなたが動画を視聴する理由について、以下の項目にそれぞれどれほど当てはまるかを教えてください。

※5当てはまる、3どちらともいえない、1当てはまらない

- | | |
|-------------------|------------|
| ①先生が言ったから | 5、4、3、2、1、 |
| ②宿題をやるのに必要だから | 5、4、3、2、1、 |
| ③授業内容の予習・復習に必要なから | 5、4、3、2、1、 |
| ④勉強に役に立つと思うから | 5、4、3、2、1、 |
| ⑤その他（ | ） |

理由①～④について、「当てはまる」【5】と「やや当てはまる」【4】の合計と、「当てはまらない」【1】と「やや当てはまらない」【2】の合計、さらに、「どちらともいえない」【3】の割合は、それぞれ以下の通りである。

- ①先生が言ったから、 $5+4=45\%$ 、 $1+2=15\%$ 、 $3=40\%$ 、
 ②宿題に必要、 $5+4=95\%$ 、 $1+2=0\%$ 、 $3=5\%$
 ③予習・復習に必要、 $5+4=92\%$ 、 $1+2=0\%$ 、 $3=8\%$
 ④勉強に役に立つ、 $5+4=92\%$ 、 $1+2=0\%$ 、 $3=8\%$

これを見ると分かるように、動画を視聴する理由として、②「宿題をやるのに必要だから」が一番多く（95%）、その次が③「授業内容の予習・復習に必要なから」（92%）と④「勉強に役に立つと思うから」（92%）というものであった。また、「先生が言ったから」の項目に関して、「当てはまる」の【5】と「やや当てはまる」の【4】の合計が45%であった。「先生が言ったから」仕方なく動画を見るという学生は、「宿題をやるのに必要だから」などと比べると、割合は低いものの、5割近くいたことも判明した。

更に、次の【問題3】において、【問題1】で【2】や【1】を選んだ学生に対して、動画を視聴しない理由について尋ねた。その結果、以下のようなことが明らかになった。

3、問題1で【2】や【1】を選んだ学生に聞きます。あなたが動画をあまり視聴しない理由について、以下の項目にそれぞれどれほど当てはまるかを教えてください。

※5当てはまる、3どちらともいえない、1当てはまらない

- | | |
|----------------------------|------------|
| ①時間がないから | 5、4、3、2、1、 |
| ②動画が面白くないから | 5、4、3、2、1、 |
| ③中国語の勉強にあまり役に立たないから | 5、4、3、2、1、 |
| ④動画を見なくても、宿題はできるから | 5、4、3、2、1、 |
| ⑤動画を見なくても、授業内容の予習・復習はできるから | 5、4、3、2、1、 |
| ⑥その他（ | ） |

理由①～⑤について、「当てはまる」【5】と「やや当てはまる」【4】の合計と、「当てはまらない」【1】と「やや当てはまらない」【2】の合計、さらに、「どちらともいえない」【3】の割合は、それぞれ以下の通りである。

い」【3】の割合は、それぞれ以下の通りである。

- ①時間がない、 $5+4=72\%$ 、 $1+2=7\%$ 、 $3=21\%$ 、
- ②面白くない、 $5+4=4\%$ 、 $1+2=77\%$ 、 $3=19\%$
- ③勉強に役に立たない、 $5+4=5\%$ 、 $1+2=92\%$ 、 $3=4\%$
- ④見なくても宿題はできる、 $5+4=46\%$ 、 $1+2=31\%$ 、 $3=23\%$
- ⑤見なくても予習・復習はできる、 $5+4=34\%$ 、 $1+2=39\%$ 、 $3=27\%$

上記を見ると分かるように、動画を視聴しない理由として①「時間がない」が一番多く(72%)、その次が④「見なくても宿題はできる」(46%)と⑤「見なくても予習・復習はできる」(34%)であった。このように、動画を視聴しないことに関して、「時間のこと」や、「必要性のこと」などが大きく影響していることが明らかになった。

また、以下の【問題4】では、動画の内容について、どの部分を見るか、または、どの部分を見ないかについて尋ねている。

4、動画には以下の①～⑥までの内容がありますが、あなたが動画を視聴する際に、それぞれの項目について、視聴するか・しないかの状況を教えてください。

項目	視聴する	どちらともいえない			視聴しない
①単語の朗読	5	4	3	2	1
②会話文の朗読	5	4	3	2	1
③単語の解説	5	4	3	2	1
④会話文の解説	5	4	3	2	1
⑤文法項目の解説	5	4	3	2	1
⑥練習内容の解説	5	4	3	2	1

内容①～⑥について、「視聴する」【5】と「やや視聴する」【4】の合計と、「視聴しない」【1】と「やや視聴しない」【2】の合計、さらに、「どちらともいえない」【3】の割合は、それぞれ以下の通りである。

- ①単語の朗読、 $5+4=71\%$ 、 $1+2=16\%$ 、 $3=13\%$ 、
- ②会話文の朗読、 $5+4=68\%$ 、 $1+2=17\%$ 、 $3=15\%$
- ③単語の解説、 $5+4=62\%$ 、 $1+2=13\%$ 、 $3=25\%$
- ④会話文の解説、 $5+4=80\%$ 、 $1+2=11\%$ 、 $3=9\%$
- ⑤文法項目の解説、 $5+4=78\%$ 、 $1+2=9\%$ 、 $3=13\%$
- ⑥練習内容の解説、 $5+4=72\%$ 、 $1+2=12\%$ 、 $3=16\%$

上記を見ると分かるように、動画を視聴する際に何をよく視聴するかに関して、④「会話文の解説」が80%で最も多く、その次が⑤「文法項目の解説」(78%)と⑥「練習内容の解説」(72%)であった。また、①「単語の朗読」が71%で、②「会話文の朗読」が

68%であった。③「単語の解説」が62%で最も低かった。

内容として、大きく「解説」と「朗読」の2種類があるが、「単語の解説」を除き、全体的に、「朗読」よりも「解説」のほうが、視聴率が高いことが分かる。これは、やはりYouTube動画として、単なる内容の「朗読」よりも、内容の「解説」のほうが、学生にとって需要があるということの現れであると言える。

続いて、【問題5】では、今後作る予定の動画に、どのような内容を含めるべきかについて尋ねている。

5、今後も動画を使っていく予定です。以下の①～⑥の項目、今後動画を作成する際に含めるべきかどうかについて、あなたの意見をお聞かせください。

項目	含めるべき		どちらとも いえない		含めるべき でない
①単語の朗読	5	4	3	2	1
②会話文の朗読	5	4	3	2	1
③単語の解説	5	4	3	2	1
④会話文の解説	5	4	3	2	1
⑤文法項目の解説	5	4	3	2	1
⑥練習内容の解説	5	4	3	2	1

内容①～⑥について、「含めるべき」【5】と「やや含めるべき」【4】の合計と、「含めるべきでない」【1】と「やや含めるべきでない」【2】の合計、さらに、「どちらともいえない」【3】の割合は、それぞれ以下の通りである。

- ①単語の朗読、 $5+4=89\%$ 、 $1+2=2\%$ 、 $3=9\%$ 、
- ②会話文の朗読、 $5+4=89\%$ 、 $1+2=2\%$ 、 $3=9\%$
- ③単語の解説、 $5+4=79\%$ 、 $1+2=4\%$ 、 $3=17\%$
- ④会話文の解説、 $5+4=93\%$ 、 $1+2=2\%$ 、 $3=5\%$
- ⑤文法項目の解説、 $5+4=95\%$ 、 $1+2=0\%$ 、 $3=5\%$
- ⑥練習内容の解説、 $5+4=91\%$ 、 $1+2=1\%$ 、 $3=8\%$

上記を見ると分かるように、今後動画を作成する際に、含めるべき内容の割合として、⑤「文法項目の解説」(95%)が最も高く、次が④「会話文の解説」(93%)と⑥「練習内容の解説」(91%)であった。この3項目はいずれも内容の「解説」であり、どちらも9割以上の学生が含めるべきだと回答している。

また、内容の「朗読」として、①「単語の朗読」と②「会話文の朗読」はどちらも89%であり、9割を切っているが、高い割合であることは間違いない。③「単語の解説」だけ、内容の「解説」であるが、8割以下となっている。

【問題4】と【問題5】の内容を比べてみると、いずれも③「単語の解説」を除き、全体的に内容の「朗読」よりも内容の「解説」のほうが、より求められるということが共通

点として挙げられる。

また、相違点として、次のようなことが観察される。

【問題4】は、これまで動画を視聴する際に、何を視聴したかをまとめたものであるのに対して、【問題5】はこれから作成する動画に、何を含めるべきかに関するまとめである。両者を比較した場合、①～⑥の内容に関して、すべてにおいて、【問題5】における【4+5】の割合が高い。

- ①単語の朗読と②会話文の朗読どちらも89%（>71%、>68%）、
- ③単語の解説79%（>62%）
- ④会話文の解説93%（>80%）
- ⑤文法項目の解説95%（>78%）
- ⑥練習内容の解説91%（>72%）

つまり、実際はそれほど視聴していなくても、今後作成する動画には、やはりこれらの内容はあった方がよいという学生の意見が多いということである。

また、次の【問題6】は、現在の動画内容に、さらに入れてほしい内容があったら教えてくださいというものであるが、これに対して、以下のような意見があった。

6、上記の内容以外に、動画に入れてほしい内容がありましたら、教えてください。

- ・ディクテーションのように、動画の最後にテストがしたい
たとえば、「音声中国語→日本語で意味を書く」、アプリだとうまくいかない
- ・字幕
- ・実際に中国でよく使う場面での会話フレーズ
- ・教科書に載っていない知識、似た意味や使い方の単語など
- ・トレーニングの内容
- ・今日の豆知識コーナー（中国の文化や生活、言葉など）
- ・中国語の話し方や発想
- ・一つ、もしくは二つ程度、オリジナルの例文があるといいと思います
- ・教科書以外にもよく使う中国語など
- ・発音の仕方、似たような発音と比べたり
- ・歌を紹介してほしい

以上の学生たちの意見は大きく次のようにまとめられよう。

まずは、現在の動画にある内容を更に充実化させるものである。例えば、「字幕」や「小テスト」「トレーニングの内容」「オリジナルの例文」などがそうである。

また、教科書以外の内容で、さらに動画に入れてほしいものも多く見られる。例えば、「教科書に載っていない知識、似た意味や使い方の単語」「教科書以外にもよく使う中国語」「実際に中国でよく使う場面での会話フレーズ」「中国語の話し方や発想」「発音の仕

方、似たような発音の比較」「歌」などがそうである。

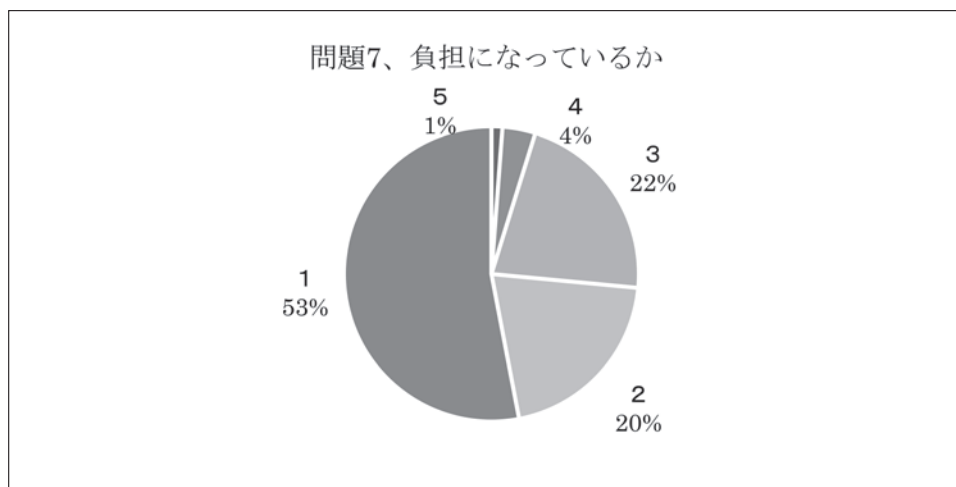
このようにみると、学生たちは、単に教科書の内容を復習するだけの動画ではなく、「字幕」や「小テスト」「オリジナルの例文」、更には「教科書以外の中国語」なども含まれている、より充実した内容構成の動画を求めていることが分かる。

以上の点について、今後積極的に検討していきたいと考えている。

また、以下の【問題 7】では、学生たちの動画視聴に関する負担について尋ねている。

7、授業外で動画を視聴することは、負担になっています（か？）。

5 4 3 2 1
当てはまる どちらともいえない 当てはまらない



【図3】動画視聴に関する負担

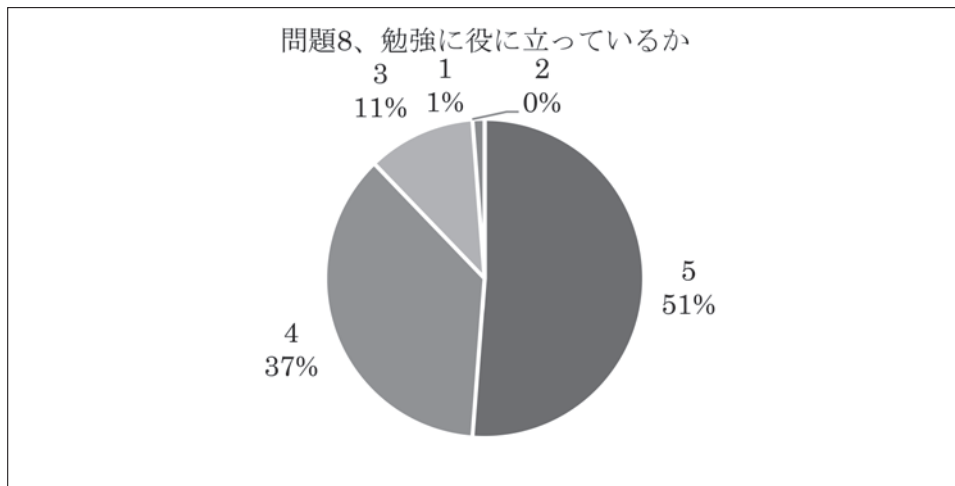
【図3】を見ると分かるように、「当てはまらない」の【1】と「やや当てはまらない」の【2】がそれぞれ53%と20%であり、合計73%である。また、「当てはまる」の【5】と「やや当てはまる」の【4】がそれぞれ1%と4%で、合計5%である。

このように、授業外での動画視聴ではあるが、学生にとって、あまり負担になっていないことが分かる。

次の【問題8】では、動画の視聴が中国語学習の役に立っているかについて尋ねている。

8、動画を視聴することで、自分の中国語学習に役に立っています（か？）。

5 4 3 2 1
当てはまる どちらともいえない 当てはまらない



【図4】動画視聴が勉強に役に立つか

【図4】を見ると分かるように、「当てはまる」の【5】と「やや当てはまる」の【4】がそれぞれ51%と37%であり、合計88%である。9割近くの学生が、動画の視聴が中国語の学習に役に立っていると回答している。

では、動画の内容について、どの項目が一番役に立つかについて聞いたところ【問題9】、以下のような結果となった。

9、役に立っていると思う場合、以下の項目にそれぞれどれほど当てはまるかを教えてください。※5当てはまる、3どちらともいえない、1当てはまらない

- | | |
|------------------|------------|
| ①宿題をする際に役に立つ | 5、4、3、2、1、 |
| ②授業の予習・復習に役に立つ | 5、4、3、2、1、 |
| ③単語や会話を覚えるのに役に立つ | 5、4、3、2、1、 |
| ④文法を覚えるのに役に立つ | 5、4、3、2、1、 |
| ⑤リスニングの練習になる | 5、4、3、2、1、 |
| ⑥その他、() | |

- ①宿題をする際に役に立つ、5+4=91%、1+2=1%、3=8%、
 ②授業の予習・復習に役に立つ、5+4=94%、1+2=1%、3=5%、
 ③単語や会話を覚えるのに役に立つ、5+4=89%、1+2=1%、3=10%、
 ④文法を覚えるのに役に立つ、5+4=78%、1+2=0%、3=22%、
 ⑤リスニングの練習になる、5+4=89%、1+2=0%、3=11%、

以上の結果を割合の高い順で示すと次のようになる。最も役に立っているのが②「授業の予習・復習に役に立つ」(94%)であり、その次が①「宿題をする際に役に立つ」(91%)である。また、③「単語や会話を覚えるのに役に立つ」と⑤「リスニングの練習になる」

はいずれも89%であった。そして、一番低いものは、④「文法を覚える」という項目であった。

また、⑥「その他」として、「授業中に困らない」、「リスニングよりは発音の練習になる」、「テスト対策」、「テスト勉強に役立つ」のような内容もあった。

このように、授業資料を基に作成したYouTube動画は、学生の中国語学習に基本的に役に立っていることが分かる。

一方で、最後の【問題10】で、動画が役に立たない理由について尋ねている。

10、役に立たないと思う場合、なぜそう思うか、良ければ理由を教えてください。

その結果、「授業と教科書で十分だ」との回答が1件あった。

以上、この節では、授業に導入したYouTube動画に関する学生アンケートの調査結果について報告した。次の節では、上記の結果について考察を行う。

4. アンケート調査の結果についての考察

この節では、第2節で述べた授業や動画の概要と、第3節で述べた動画視聴に関するアンケート調査の結果について、総合的な考察を行う。

動画が中国語学習に役に立ったかについて尋ねた【問題8】と【問題9】の結果から分かるように、基本的に多くの学生が授業視聴に関して、積極的に評価している。また、授業外で動画を視聴すること自体、それほど大きな負担になっていないことも明らかになった【問題7】。その一方で、第2節で述べたようにアップした9本の動画のうち、動画の視聴回数が最高でも224回であり、学生一人当たり2回ほどであるということと、動画視聴頻度を尋ねた【問題1】の結果を見ると、やはり、全体的に動画視聴の頻度は高くはないといわざるを得ない。【問題3】で動画を視聴しない理由について尋ねているが、「時間がない」と「動画を視聴しなくても、宿題や予習・復習はできる」という理由が多かった。このようなことが影響していることは確かであろうと思われるが、学生の中国語学習に対する積極性、いわゆる「学習者要因」や、学生にとって魅力的な動画内容になっているか、いわゆる「動画要因」などの点も大きく影響しているのではないかと考えられる。

たとえば、「学習者要因」の積極性に関しては、実際に第2節でみたように、卒業要件となっている「中国語Ⅰb」の受講者一人当たりの再生回数に比べ、2年生の「中国語Ⅱb」や専門科目の「中国語コミュニケーション」の受講者一人当たりの再生回数が高いことが挙げられる。これには、やはり積極性というものが大きく影響しているといっても過言ではない。

また、「動画要因」の動画内容そのものの魅力に関しては、特に現在あるコンテンツの他に、どのようなものを入れてほしいかを尋ねた【問題6】の回答を見ると一目瞭然である。学生たちは、単に教科書の内容を復習するだけの動画ではなく、「字幕」や「小テスト」「オリジナルの例文」、更には「教科書以外の中国語」なども含まれているより充実した内容構成の動画を求めていることが分かる。

このように、当然のことではあるが、学生たちにとってより魅力的な動画内容になって

いるかが、視聴回数を大きく左右するものとなる。この点は、今後の課題として、積極的に取り組んでいきたいと考える。

5. まとめと今後の課題

本稿では、筆者が動画作成を開始するきっかけや、動画を導入した授業と動画視聴の概要、さらには、学生の動画視聴に関する実態調査と意識調査の結果などを報告した。

詳細はこれまで述べてきた通りであるが、ここでは、最後に中国語教育とYouTube動画に関する筆者の考えを述べておく。

現在あるコンテンツの他にどのようなものを入れてほしいかについて尋ねた【問題6】の内容を見ると分かるように、学生は確実により質の高い動画を求めている。少し大胆な予想になるが、このニーズに対して、真剣に考え、実践を重ねていくと、ゆくゆくは大学教員が大学の仕事をこなしつつ、Youtuberとしても活躍する時代が来るかもしれない。

実際、現在YouTubeにおいては、様々なニーズに応じて、勉強系コンテンツの配信がますます多くなっており、高校の現役教員が高校の歴史の授業等を担当しつつ、Youtuberとして活躍している山崎圭一先生⁶の例もある。

筆者自身は、より多くの大学の中国語教員が自分の専門性を活かし、それぞれ所属している大学の仕事をこなしつつ、日本の中国語教育全体のレベルアップのために、行動を起こしてほしいと願っている。YouTubeという舞台において、より多くの中国語教育の専門家が自分の専門を生かし、質の高いコンテンツを提供することで、学生たちは各大学の授業内容を吸収しつつ、さらに大学の垣根を超えて自分の興味関心に応じ、YouTube動画という身近な道具を使って、それぞれの専門性を深めていける、そういう時代がいつか来ることを願って、筆を置くことにする。

【参考文献】

岩居弘樹（2014）「iPadを活用した学生によるビデオ作成」『中国語教育』12号,pp.38-45.

清原文代（2015）「これからの中国語教材」『中国語教育』13号,pp.58-74.

斎藤公輔（2014）「動画投稿サイトYouTubeを活用したドイツ語授業」『関西大学外国語教育フォーラム』13巻,pp.67-78.

紅粉芳恵（2015）「CaptionTubeを使った字幕作成と授業デザイン：インタビュー動画を利用して」『関西大学外国語教育フォーラム』14巻,pp.61-75.

【関連サイト】

Explain Everything EDUの公式サイトとYouTubeの公式サイト

- ・ <https://explaineverything.com/>
- ・ <https://www.youtube.com/user/MorrisCookeVideos>

⁶ 山崎圭一先生は高校の教員をしながら、Historia Mundiという名前のYouTubeチャンネルを運営している。<https://www.youtube.com/channel/UCzSU4Vjk2VBJFHPvB5SJxHA/featured>

筆者が運営している「芸短中国語Xu tingjie」のYouTubeサイト

・ <https://www.youtube.com/user/kasang429>

山崎圭一氏が運営している「Historia Mundi」のYouTubeサイト

・ <https://www.youtube.com/channel/UCzSU4Vjk2VBJFHPvB5SJxHA/featured>

【付記】

本研究の調査にご協力いただきました学生の皆様に深く感謝致します。

【資料】

授業用動画視聴に関するアンケート

このアンケートは授業改善活動の一環として行っております。アンケート結果は、学生の皆さんの成績に影響しません。どうぞ、忌憚のないご意見を教えてください。アンケート結果は今後、授業改善のヒントやそれに伴う研究活動のデータとして、利用させていただくことがございますので、ご了承ください。

1、授業内容に関する動画（第4課から第8課までの5つ）は必ず毎回視聴しています。

5	4	3	2	1
当てはまる	どちらともいえない			当てはまらない

2、問題1で【5】や【4】を選んだ学生に聞きます。あなたが動画を視聴する理由について、以下の項目にそれぞれどれほど当てはまるかを教えてください。

※5当てはまる、3どちらともいえない、1当てはまらない

- | | |
|-------------------|------------|
| ①先生が言ったから | 5、4、3、2、1、 |
| ②宿題をやるのに必要だから | 5、4、3、2、1、 |
| ③授業内容の予習・復習に必要だから | 5、4、3、2、1、 |
| ④勉強に役に立つと思うから | 5、4、3、2、1、 |
| ⑤その他（ | ） |

3、問題1で【2】や【1】を選んだ学生に聞きます。あなたが動画をあまり視聴しない理由について、以下の項目にそれぞれどれほど当てはまるかを教えてください。

※5当てはまる、3どちらともいえない、1当てはまらない

- | | |
|----------------------------|------------|
| ①時間がないから | 5、4、3、2、1、 |
| ②動画が面白くないから | 5、4、3、2、1、 |
| ③中国語の勉強にあまり役に立たないから | 5、4、3、2、1、 |
| ④動画を見なくても、宿題はできるから | 5、4、3、2、1、 |
| ⑤動画を見なくても、授業内容の予習・復習はできるから | 5、4、3、2、1、 |
| ⑥その他（ | ） |

4、動画には以下の①～⑥までの内容がありますが、あなたが動画を視聴する際に、それぞれの項目について、視聴するか・しないかの状況を教えてください。

項目	視聴する		どちらともいえない		視聴しない
①単語の朗読	5	4	3	2	1
②会話文の朗読	5	4	3	2	1
③単語の解説	5	4	3	2	1
④会話文の解説	5	4	3	2	1
⑤文法項目の解説	5	4	3	2	1
⑥練習内容の解説	5	4	3	2	1

5、今後も動画を使っていく予定です。以下の①～⑥の項目、今後動画を作成する際に含めるべきかどうかについて、あなたの意見をお聞かせください。

項目	含めるべき		どちらともいえない		含めるべきでない
①単語の朗読	5	4	3	2	1
②会話文の朗読	5	4	3	2	1
③単語の解説	5	4	3	2	1
④会話文の解説	5	4	3	2	1
⑤文法項目の解説	5	4	3	2	1
⑥練習内容の解説	5	4	3	2	1

6、上記の内容以外に、動画に入れてほしい内容がありましたら、教えてください。

7、授業外で動画を視聴することは、負担になっています（か？）。

5 4 3 2 1
 当てはまる どちらともいえない 当てはまらない

8、動画を視聴することで、自分の中国語学習に役に立っています（か？）。

5 4 3 2 1
 当てはまる どちらともいえない 当てはまらない

9、役に立っていると思う場合、以下の項目にそれぞれどれほど当てはまるかを教えてください。※5当てはまる、3どちらともいえない、1当てはまらない

- | | |
|------------------|------------|
| ①宿題をする際に役に立つ | 5、4、3、2、1、 |
| ②授業の予習・復習に役に立つ | 5、4、3、2、1、 |
| ③単語や会話を覚えるのに役に立つ | 5、4、3、2、1、 |
| ④文法を覚えるのに役に立つ | 5、4、3、2、1、 |
| ⑤リスニングの練習になる | 5、4、3、2、1、 |
| ⑥その他、(|) |

10、役に立たないと思う場合、なぜそう思うか、良ければ理由を教えてください。